

令和元年度

湯沢市の教育

湯沢市教育委員会



湯沢市の概要

《 位置と地勢 》

湯沢市は、山形県、宮城県に隣接する秋田県の最南東部に位置し、県都秋田市へは直線距離で約 70km、宮城県仙台市へも同じく約 95km に位置しています。隣接する両県とは、国道 13 号、108 号及び 398 号で結ばれており、秋田県の南の玄関口となっています。また、面積は 790.91 平方キロメートルで、秋田県の面積の約 6.8% を占めています。

東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれた横手盆地を貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

気象は、内陸性で気温の差が大きく、四季折々の自然美を見せてくれます。

面積：790.91 平方キロメートル
東経：140 度 29 分 53 秒
北緯：39 度 9 分 41 秒

《 歴史 》

この地域には古くから人が住み、縄文時代の遺跡が多数発掘されています。平安期の謎に包まれた才女「小野小町」は、湯沢市小野が生誕地と言われ、岩屋洞などの多くの史跡や伝承が守り継がれています。

1193 年には、小野寺氏が稲庭城を築き、約 400 年にわたり統治したと言われ、関ヶ原の戦いの後、1602 年には佐竹領となり、市内各所に小野寺氏、佐竹氏の時代から伝わる祭りや文化財などが多く見られます。

1603 年、佐竹義種が城主として湯沢城に入城以来、湯沢は佐竹南家の城下町としてその街並みが形成されました。1606 年には院内銀山が発見され、藩直営の銀山として繁栄し、最盛期には銀山の人口が 15,000 人を数え、天保の盛り山と言われました。明治 38 年には奥羽本線が全線開通し、昭和 38 年に皆瀬ダムが完成、平成 8 年に国道 108 号鬼首道路、平成 9 年に湯沢横手道路が開通し、生活基盤の整備が進みました。

目 次

I 教育委員会の機構等

1. 教育委員会	1
2. 組織機構	2
3. 教育財政	3

II 学校教育

1. 学校教育の推進	4
2. 教育環境整備の推進	6
3. 小中学校の設置状況	7
4. 小中学校児童生徒数	1 3
5. 教育研究所	1 4
6. 各種委員名簿	1 5

III 学校給食

1. 学校給食の推進	1 6
2. 給食施設設置状況	1 8

IV 生涯学習

1. 生涯学習の推進	1 9
2. 社会教育施設	2 1
3. 指定文化財	2 3
4. 各種委員名簿	2 9

V スポーツ振興

1. スポーツ振興の推進	3 2
2. 体育施設	3 3
3. 各種委員名簿	3 6

VI 資料

1. 職員名簿	3 8
2. 各施設所在等一覧	4 1
3. 各学校所在等一覧	4 3